令和５年度 第１回図書館協議会 会議録

◎開催日時　令和5年（2023年）7月7日（金）午後1時 30 分～午後3時 30 分
◎開催場所　野洲図書館 本館 会議室
◎出席者　図書館協議会委員 10 名（宇野比呂久委員、遠藤正一委員、岡田さゆり委員、岡田知巳委員、辻村琴美委員、中村聡子委員、早川久登委員、披岸徹夫委員、松山裕子委員、山本宗司委員）、事務局3名（図書館長、専門員、司書）
（傍聴者1名）

＊配布資料について
ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会議事録とともに公開しています。

１．開 会
（事務局三人より挨拶）

２．自己紹介
（委員それぞれによる自己紹介）

３．会長、副会長の選出
互選により会長に早川久登委員、副会長に松山裕子委員を選出。

４．議事
（1）令和4年度事業報告について
【館長】（「令和4年度野洲図書館事業報告（概要）」に沿って説明。）

（子どもと本をつなく取り組みについて）
⑤⑥については、令和5年度から特に勧めていきたいと考えている事業です。⑤（園への協力事業）については以前から行っていたものですが、今年度ではさらに注力していきます。⑥（小中学校の学校図書館の充実に向けて）は今年度のみの事業になるかもしれませんが、図書館の職員一名が学校図書館支援員として学校図書館のコンピュータシステムなどについての相談や調べ学習用資料の運搬等にあたります。資料として「学校図書館支援員をご活用ください！」というチラシをつけておりますので、そちらも合わせてご覧ください。

（「まとめ」のページについて）
これは前回の協議会で、「事業報告（数値）だけではなく、図書館の思いが分かるものが一緒にあるとよい」というご指摘があったことを受けて作成した資料です。文章ばかりで読みづらい形にはなりますが、ご確認ください。

一段落目には利用状況が書かれています。二段落目には図書館を利用していない市民へのはたらきかけが今後の大きな課題であるとして、三段落目以降で図書館に来るのが難しいことを理由に図書館を利用しない市民へのはたらきかけについて書いています。これは今年度の野洲図書館の事業評価の目標にも大きく関わってくるものになります。具体的な取り組みとして予約本受取ボックスやアル・プラザ野洲での移動図書館を挙げています。アル・プラザ野洲での移動図書館は、6 月に第1回を行い、28 名の方に 82 冊を貸し出しました。今後は毎月第三金曜日に移動図書館を続けていく予定です。また、他にも図書館外への取り組みを広げていきたいと考えております。

最後に、子どもを対象にした取り組みについても書いています。今まで学校図書館の整備については、公共図書館は責任も権限も持っていないため声を上げてきませんでした。これは野洲に限らず、県内の公共図書館でもそうです。しかし公共図書館の業務運営をするうえで、学校図書館が十分に機能していないことを抜きにしたままでは、子ども読書活動推進や調べ学習への十分な支援ができません。状況も変化しています。県内で学校司書が未設置なのは野洲を含め3自治体のみです。今年は図書館職員 1 名に学校教育課との兼務辞令を出してもらい、「学校図書館支援員」として、システム運用面での困りごとや調べ学習資料の配送等を行う予定としています。

【会長】質問はありますか。

【委員】学校へのサービスは充実していますが、障害がある子が通う学校(養護学校)へも広げてほしいです。養護学校では、現時点では学級文庫として図書館から 20 冊本を借りて活用しています。子どもたちが本を破損することが心配なので、としょかんBOXなどを利用するのは難しいと思います。ブックトークやおはなし会に参加する機会を養護学校に通う子供たちにも与えてあげてほしいです。また、学校支援の一環として野洲高との連携をしているというお話がありましたが、県立高とはどのような連携をしていますか。

【館長】野洲高校とは、図書館だよりの交換等を行っています。図書館の本を持って行って貸し出しすることもありました。

【委員】今まで、野洲では公共図書館の評価は高いのに学校司書が置かれないということが長年の課題でした。今年から配置したという「学校図書館支援員」には期待をしてもいいのでしょうか。人数が少ないなかでどれだけ動けるのでしょうか、学校司書の代わりにはなるのですか？

【館長】学校司書の代わりにはなりません。学校司書の役割として大きいのは、毎日休み時間に本の貸し出しを行ったり問合せに対応したりすることですが、学校図書館支援員は 9 校に 1 人なのでそれは不可能です。主に学校図書館のシステムで困ったことに対応したり、環境整備をしたり、調べ学習の本を運んだりします。学校図書館支援員は図書館についての専門的な知識を持つ人材として、学校司書が必要と市にアピールするための人員と考えています。学校司書へのつなぎの仕事ととらえています。仕組みとしては半端なものですので、このままの状態が続くようなら問題です。

【委員】学校図書館でボランティアをしていますが、どこまでやってよいのかというジレンマの中で活動しています。現在導入されている学校図書館システムは使いづらいものです。何

かトラブルがあった際、学校図書館支援員にすぐ相談できるのは安心です。図書館ボランティアがいない学校もあり、学校司書の必要性を感じています。司書という「公共図書館にも必要な人材」が学校に派遣されているのが現状です。良質な本を子どもたちに届けたいという想いだけでボランティアを行う人もいます。支援員のはたらきだけで市に十分アピールできるかは疑問なため、声はあげ続けるべきと考えます。

【委員】学校司書がいない前提で、学校司書をつけてもらうためにおかれたのが学校図書館支援員ですが、学校と図書館どちらでもない中間のクリアな立場の視点を持てるのではないでしょうか。野洲の学校図書館の問題点や課題をまとめ、学校司書配置のために足りない点を具体的に考えて、議会や教育委員会に証拠として見せ、みんながどうすればよいかみえてくるようにすればよいのではないでしょうか。

【委員】課題の洗い出しまで期待してしまうと、学校図書館支援員の負担が増えるのではないですか。

【館長】さきほど委員がおっしゃったとおりのことをするために「学校図書館支援員」をつけました。「学校図書館支援員」は現状の課題を洗い出し、学校司書が必要であることをアピールするための人員です。

【委員】利用状況について、R4年度に利用者が減ったことについて具体的に分析はおこなったのでしょうか？どの年代が減っているのか、なぜ減っているのか、たとえばそのターゲットに合った本を買うとかの対策も考えられます。

【館長】令和3年度はコロナ禍の前年から増えたのですが、令和 4 年度は下がっています。県立図書館からお聞きしたのですが、県内の図書館でも同じ傾向とのことで、令和3年度に増加した反動で令和4年度は減少したのではないかと考えています。細かい分析はできていません。いろいろな対策をしながら利用を伸ばしていきたいと考えています。

【委員】子どもの利用者層は減っていないとの報告がありました。高齢者層も減っていないのではないかと思うので、その間の層の利用が減っているのではないかと考えられます。男女や年齢層など、どの利用者層が減っているのかについては具体的な分析を行わなければ、このまま減り続ける可能性もあるのではないかと思います。

【委員】野洲駅の予約本受取ボックスの稼働数はどれほどですか。

【館長】34 棚がフル稼働している状態です。用意はできているのに入れられない本が常にたまっており、棚が空くのを待っている状態です。今は、本が用意できてからだいたい4日待ちとなっています。

【委員】予約本受取ボックスによって全体の貸出数に増減はありましたか？

【館長】4 月以降、貸出数は大きく変わっていません。

【委員】受け取りボックスの運用が始まったにも関わらず、貸出数が増えていないということは本館での貸し出し数は減っているのでしょうか。

【委員】今まで本館に来て借りていた人が、駅で貸し出しをするようになっているだけで、（貸し出し数が増えていないのは）当たり前のことではないでしょうか？新規の方が増えたというよりも借りる場所が増えたのだと思います。

【委員】それだけで700万円というコストを払ったならもったいない。受け取りボックスは今まで図書館に来られなかった新規利用者を増やすことがねらいだったと聞いています。今までの来館者が多く利用しているのであれば、700万円払ったのは妥当だったのでしょうか?その費用で本を買ったほうが利用が増えたのではないかと思ってしまいました。

【館長】予約本受取ボックスの年間の予想貸出数はもともと数千冊ほどと考えていました。34 しか棚がないので、何万冊も貸すことはできません。「図書館に来られない人に駅で借りてもらう」ことが主要な目的だったので、そこの利用がこれから増えていかなければならないと思います。全体の統計の中で(ボックスの運用によって貸し出し数が)大きく増えるとは考えていません。

【委員】ボックスによって貸出が増えるのではないかと考えていたので少しショックでした。長浜の図書館では移動図書館を行っているそうです。長浜での移動手段は車が主流で、電車を使う人が少ないため、駅で予約本受取ボックスを置くサービスを行っても効果が期待できないとのことでした。野洲は駅の利用者も多いため図書館の利用が増えるのではないかと期待していたが、あまり増えていなかったのでそれなら移動図書館車を買ったほうがよかったのではと思ってしまいました。

【委員】駅の予約本受取ボックスを楽しみにしていました。今までは仕事の関係で開館時間中に来られませんでした。受け取りボックスは利用者としてとても便利です。今後新規の利用にもつながるのではないでしょうか。

【委員】受取ボックスには宣伝効果もありますが、今まで来館していた人が来なくても借りられるようになったという意味合いが大きいと思います。新規利用者となりうるのは今まで図図書館に来られなかった層である以上、来館しなくても利用者登録できる仕組みを考えなければ、新規の利用者獲得につなげるのは難しいと思います。

【委員】アル・プラザで行う移動図書館で、利用者登録をすればよいのではないでしょうか?

【館長】6 月のアルプラの移動図書館で実施済みです。アル・プラザで登録、貸出までできる仕組みになっています。まだ一回しかしていませんが、続けていくうちに「アルプラなら来れる」と思ってもらえるとよいと考えています。

【委員】図書館としては色々な取り組みを行っていますが、それは市の上層部にも届いているのでしょうか?対立関係になりがちだと思いますが、取り組みを広げていくことで市からも理解を得られるようにしたらよいのではと思います。特に財政関係者にも知ってほしい。以前は図書館協議会にも教育部の人が出席してくださっていましたが、最近は出席がありません。野洲市には本を読む文化を定着させられる可能性があります。ただ、学校司書を含め取り組みにはお金もかかるので、お金を動かせる人たちへの理解を得ることにつなげられたら良いと思います。野洲で、本が楽しめて世界が広がるようになる、本の文化として定着するとよいと思います。(実績報告概要p1　全国比較の表に出てくる)野々市市は文化が根付いていると思います。

【委員】新たな取り組みとして、野洲の本好きを集めたクラブを作ってはどうでしょうか?アル・プラザでは「きっずくらぶ」があります。市民が集まって動いている、こういうことをやっているという実績を作れば、市に PR する材料になります。市としても見逃せない実績にでき

るかもしれません。野洲には本が好きな人も多く、そういった会があれば楽しんでもらえるのではないでしょうか。利用者との親睦を深める場にもなると思います。

【委員】最近は「来館して本を借りる」利用の形が神話になりつつあります。違う形に変えていく必要があるのではないでしょうか。いいとか悪いとかではなく、状況が変わってきているように感じます。図書館の外へ出て行って広げるという動きに変わっている気がします。
【委員】賛成。図書館が外にサービスを展開し、利用者の対象枠を広げることで利用につながるのではないでしょうか。母数を広げることが大事です。

（2）令和5年度事業評価について

【事務局】事業評価シートは評価の方法などについて前回の図書館協議会での指摘を反映して、今回から新仕様になっています。評価シートでは図書館が目指す像を示したうえで、それに基づく活動の方針を定め、令和4年度の実績と今後の指標、目標を記しています。ただ、指標と目標については今回からシートが新方式になっている関係で実績にそぐわない形になっているものもあります。「（1）市民の必要とする資料と情報の提供」において、令和4年度の個人貸出冊数の目標は従来通り55万になっていますが、これは在勤・在学者も含めた数値であるため、令和5年度の目標値は市内在住者のみで47万冊に変更したいと考えます。「（2）こども、若者と本をつなぐ」では令和4年度の目標として令和3年度の実績を記しています。「（3）誰もが利用できる図書館サービス」については、野洲駅予約本受け取りボックスが予想以上に利用されていることを受け、令和5年度目標値を4,500に訂正したいと思います。
【委員】野洲駅の予約本受取ボックスの利用は3か月で2,600だということでしたが、なぜ年間目標が4,500なのでしょうか？
【事務局】2,600 は貸出冊数です。目標値は貸出者数です。一か月の実績の利用者数が400人程度であることから 4，500 人と設定しました。末尾の「その他の意見」について、評価記号の意味を記載してほしいとの希望を受け、前年度から使用しているABCDの4段階評価をそのまま使用したいと考えています。改めて評価シートにも記載したいと考えておりますので、よろしくお願いします。A（目標を達成した）、B（目標をある程度達成した）、C（目標をあまり達成できなかった）、D（目標をあまり達成できなかった）の4段階となります。
【委員】以前は数値目標でしたが、シートに記載しているのは定性目標になります。この場合の評価基準も記載するべきだと思います。一番上に書いてある目標にどれだけ貢献したのかという観点で ABCD をつけるのでしょうか？定性評価の場合は目標をどこに持ってくるのかを明記したほうが良いと思います。
【事務局】検討します。
【委員】図書館の方ではどういう観点で評価したのですか。図書館協議会での評価もそれに準ずる形で評価をすれば良いと思います。図書館と協議会が同じ観点で評価しないと意味がありません。

【館長】数値ではなくどれだけ「活動の方針が達成できたか」どうかで評価していただきたいと思います。
【会長】では我々もその形で評価しましょう。また、県立図書館の評価では各委員のコメントを事務局が編集して圧縮して掲載するとのことでしたが、野洲では委員のコメントはそのまま載せることにして、コメントの中の「要望」については別に回答を作って返すようにしてはどうでしょうか。
【委員】外部評価については今回の協議会で行うのでしょうか？
【事務局】次回お願いします。前回も、一回目に説明して2回目に外部評価していただく形をとりました。
【会長】では各自考えてきて、次回の会議で外部評価を行うこととします。

【委員】評価シート1枚目の自己評価に、「ブックフェアへの参加」とあるが何のことでしょうか。
【事務局】選書の際、本来は書店へ行くなどして直接現物を見ながら選ぶのが基本です。前年は見計らい図書などを何百冊か持ってきてもらい選ぶ機会を作りました。ブックフェアとは、現物を見ながらの選書を会場を借りて実施しているものを指します。京都や大阪で大規模に実施されたものに参加しました。

（3）令和５年度事業について

【館長】（資料⑩「令和 5 年度野洲図書館年間事業等の予定」を見ながら説明。）「雑誌『現代農業』に学ぶ野菜づくりのコツと裏ワザ」については、最初は30名程度の定員を予定していましたが人気が高かったため増員して開催しました。「一日図書館員」についてはコロナ前の人数に戻して実施する予定です。「本を使って自由研究」は今年から行う新たな事業です。次に展示についてですが、「身近にあった戦争」では中主小学校から見つかった模擬手りゅう弾などの展示を予定しています。また、仮の予定ではありますが、図書館でお泊りはできないにしても「図書館で夜更かし」では図書館を夜10時まで開館し、おはなし会や書庫探検などを予定しています。また、去年から始めた「一箱古本市」を今年度も開催予定です。まだ告知はしていませんが、『成瀬は天下を取りに行く』の作者である宮島未奈さんをお招きしたファンミーティングも企画しています。また、これも仮ではありますが蓮岡進さんによる講習会も企画しています。蓮岡さんは絵本のお店の店主で、中村哲さんとアフガニスタンで水路や井戸を掘る活動をされてきたかたです。子どもが目の前で亡くなるような厳しい状況の中で「子どもに絵本を読んであげるのが一番小さな平和の形」と気づき、今なぜ絵本が必要なのかを伝える活動をされている人です。講演会の前に、中村哲さんの DVD 上映会も予定しています。各事業などについては、資料としてつけているチラシなども合わせてご覧ください。
【委員】「一日図書館員」は去年も高校生までを対象に開催していたのですか？
【館長】昨年も小学 4 年生から高校生までを対象に実施しました。
【委員】（県のサイト）「におねっと」などを用いて告知ができるとよいのではないですか。

【委員】「成瀬」のファンミーティングについても、LINE など若い人が受け取りやすい形で情報を発信できるとよいと思います。
【委員】「成瀬」ファンミーティングの参加者は、野洲市民優先とせずに、応募を募るのですか？
【館長】その予定です。
【委員】電話対応は負担ではないですか。
【館長】想定の上です。こちらとしても楽しさのある企画ですので、得に負担とは考えていません。
【委員】イベント等の告知を「教育しが」に掲載できないでしょうか？保護者向けのものですが、学校で配られる際に興味がある子には見てもらえるかもしれません。
【委員】一つのネットワークとしては有効かと思います。

【委員】農文協「ルーラル電子図書館」は雑誌『現代農業』の過去のバックナンバーや辞典などを検索できるデータベースです。県立図書館で「利用希望者が県立図書館に集中しないように」というコロナ対策の名目で、県内の公共図書館全体で使用できるような形で契約しました。市町立図書館でも利用可能であることをPRしていきたいと思います。県立図書館の利用者層は主に都市居住者ですので、農業が盛んな地域で利用を勧めたいと考えています。
【委員】（市町立図書館でルーラル電子図書館が利用できることを）もっと宣伝できる方法はないのでしょうか？普段図書館を利用しない人が「野菜づくりのコツ」講習会に参加して非常に良かったと言っていました。ルーラル電子図書館についても、チラシを作るなどして普段図書館を利用しない人にも PR を行ってほしいと思います。
【館長】そうします。
【委員】ルーラル電子図書館のように、県立図書館のデータベースのうち市町立でも利用可能なものはありますか？
【委員】現時点ではルーラル電子図書館だけです。このような契約の形にするのはかなり経費もかかるため財政担当への説得が難しくなります。市町立から依頼があれば、県立が代理で確認、印刷して提供できるものもあるため増やすことは考えていません。ルーラル電子図書館は利用できる資料の幅が広く、市町立でも利用が見込めたためこのような形で契約しました。

【委員】アル・プラザでの取り組みは良いと思います。地域の施設などと一緒に行う取り組みは多くありますが、ほかにも商業施設など私的な施設で移動図書館ができる場所を開拓する予定はありますか？
【館長】たとえばスーパー等など、今後検討したいと考えています
【委員】もし「図書館に場所を貸してもいい」という人がいたら連絡しますね。

（4）その他
【会長】では最後、その他の議事についてお願いします。

【事務局】（図書館関係の新聞記事を説明。学校図書館関連の維持、予約本受取ボックスを紹介した記事、非正規の図書館職員についての日本図書館協会の記事等）

【委員】資料の⑧や⑨について、何か説明などはありますか？
【館長】（資料⑦「生年別市民一人あたり貸し出し冊数」）について説明。）同じ年代でも、時代によって借り方が違います。一生を通して図書館利用が少ない層がいる、子ども（小学生時）は貸し出しが多い、といったことが分かります。

【館長】資料⑧「貸出密度上位の図書館と野洲図書館の比較」については、前回「他の図書館と比較してはどうか」という前回の協議会の指摘を受けて作成した資料です。分析すると、野洲図書館は経費、雑誌購読数が少ないことが分かります。（資料⑨「滋賀の図書館2023」については各自で確認。）
【会長】何かご意見などはありますか。
【委員】（資料⑧について）野洲は比較してお金がないような印象ですが、予約件数が多いのは、本が十分に買えていないからでしょうか？
【館長】高い本が良い本とはいえませんが、本が無くて予約が増えているという見方もできます。
【委員】予約件数は（評価指数として）単純な解釈が難しい指標です。多ければよいというわけではない。蔵書が一定以下だと利用者からは期待もされなくなるので、予約が多いということは利用者の要求を引き出せているという見方もできます。予約が多いから本が足りないと単純に結びつけることはできない。野洲の人には本を読むという文化が根付いているのではないかと思います。
【委員】貸出密度が多いところばかりと比べているという理由もあるかもしれませんね。
【委員】予約件数は滋賀県全体としてはそこまで多くありません。野洲がこれだけ突出して多いということは、利用者の要求をそれだけ引き出せているということではないでしょうか。
【委員】この予約件数にネットで受付した予約も含まれているのであれば、予約のしやすさも影響しているかもしれませんね。

【会長】その他、何か意見や質問はありますか。
【委員】（事業評価シート末尾「その他の意見」より）「少し古くなるとすぐ書庫に移されてしまい…」とありますが、書庫へ移動させる際の基準はあるのでしょうか？
【館長】書庫へ引く時期を見定めるのは難しいです。分野によって異なり、多少古くても開架に出しておくべき資料もあります。基準を統一して示すのは難しいです。

【委員】（新聞記事より）非正規の処遇については教育・福祉でも同じ問題が浮上しています。社会の構造などの面にも問題があります。図書館の職員も頑張っているとは思いますが、野洲図書館としては何か問題があるのでしょうか？この新聞記事を今回の資料としてつけた意味は何かありますか。

【館長】記事は指定管理者制度を導入した図書館についてですが、野洲図書館もカウンターで行う業務はほぼ同じにも関わらず、会計年度任用職員と正規職員との待遇の違いがあります。社会全体として図書館の運営を民間に委託する流れがあり、「民間委託によって誰が犠牲になるのか」「持続可能なのか」を現場として考えていかなければならないと考えています。日本図書館協会がこのような文書を出したこと、社会全体の流れも含めて、今回の会議で情報提供をするために資料として配布しました。

【委員】教育などの場面においては、正規と非正規の（業務上の）違いを出すのが難しいといいます。野洲図書館でも考えていく必要があると思います。

【委員】野洲図書館における職員の割合を教えてください。

【館長】カウンターに立って司書として仕事をする職員は17人です。そのうち正規職員は9人、会計年度職員は8人です。他に事務補助員が3人、土日のみ出勤する図書整理員が3人います。

【委員】（図書館の予算が減っていることについて）守山ではふるさと納税の返礼品として図書館の利用者資格をもらえます。守山はそれだけ図書館を魅力と考えているということだと思います。野洲も図書館は魅力的ですが、市の理想像の中に図書館も入れてもらえないのでしょうか？市の方にも図書館のことを考えてもらえないでしょうか。

【館長】以前は野洲もふるさと納税の返礼品として図書館のカードをお渡していましたが、それを目的に 100 円をふるさと納税する人が出てきたため、制度の趣旨に合わないと考えて廃止しました。

【委員】長く住みたい街を考えるにあたり、図書館も重要な役割を果たしているということを市にも認識してほしいですね。

【委員】ふるさと納税は使い方を限定できるのでしょうか？

【委員】ふるさと納税ではなく、〇〇応援～という形であれば限定した利用（目的のある寄付）が可能だったと思います。守山は図書館運営に、県立は児童書の補修に限定して使っているはずです。

【委員】寄付が多く集まると、その分、市からの予算が減らされることもあるので注意が必要かと思います。

【委員】「さとふる」は使い方を限定して納税ができると聞きましたがどうなのでしょうか？野洲が市としてどのようなものに登録しているかを確認したほうが良いかと思います。

【委員】（資料の新聞記事より）野洲の学校図書館の資料費はどれほどですか。

【館長】全体で270万円です。それを小中学生の数（4500）で割ると・・。

【委員】600円くらいですね。

【委員】市としての理想像の中に図書館を入れこんでもらうというのは良い案だと思います。教育委員会に野洲図書館の魅力をPRする場を作って、市に持ち込んでもらう形を作るべきです。

【委員】守山も市政50周年の折に、市の計画の中に「読書」というキーワードを取り入れた。それから守山は学校司書が各校に 1 人配属になっている。市政を諮問する機関からの発言などの中に「読書」という語を入れて取り組まざるを得ない形を作れないでしょうか。

【委員】子ども読書活動推進計画は、市の事業の中でどれくらいのポジションにあるのです

か？その中にさらに図書館としての取り組みを入れ込めないのでしょうか。
【委員】計画を立案する際、財務局の審査が厳しいです。何か文章などがあればそれに沿う形で計画や事業を立案できるのですが、何もなければなかなか難しいかと思います。

【会長】ありがとうございます。それでは時間も来ておりますので、ほかに何もなければ議事はここまでにしたいと思います。

＊次回の会議までに、図書館の評価のABCについては各自で検討。
＊次回の会議予定 9月～10月で調整したい。

令和５年度　第１回図書館協議会　次第

令和 5 年（2023 年）7 月 7 日（金）
13 時 30 分～15 時 30 分
野洲図書館　本館

１．開　会

２．あいさつ

３．自己紹介

４．会長、副会長の選出

５．議　事

（１）令和４年度事業報告について

（２）令和４年度　野洲図書館事業評価について

（３）令和５年度事業について

（４）その他

＊次回の会議予定

６．閉　会

配布資料一覧

事前送付資料

① 令和４年度野洲図書館事業報告
② 図書館事業評価について
③ 令和４年度度　野洲図書館　事業評価シート

当日配布資料

④ 図書館協議会委員名簿
⑤ 令和４年度　野洲図書館　事業評価シート（事前意見記載版）
⑥ 野洲図書館　利用状況の推移（グラフ）
⑦ 生年別　市民一人当たり貸出冊数
⑧ 貸出密度上位の図書館と野洲図書館の比較
⑨ 令和４年度　滋賀県の図書館統計
⑩ 令和５年度　野洲図書館年間事業等の予定
⑪ 野洲駅　予約本受取ボックス稼働状況
⑫ 予約本受取ボックス広報チラシ
⑬ 「学校図書館支援員をご活用ください」チラシ
⑭ 「アルプラ移動図書館」チラシ
⑮ 「雑誌『現代農業』に学ぶ野菜づくりのコツと裏ワザ」チラシ
⑯ 「一日図書館員」チラシ
⑰ 「本を使って自由研究」チラシ
⑱ 「身近にあった戦争～中主小学校から手りゅう弾が見つかった！」
⑲ 「みんなで成瀬を語る会」チラシ
⑳ 日本図書館協会資料
㉑図書館関係記事
㉒図書館だより　７月号
㉓図書館カレンダー

初めての委員向け（事前送付）

・図書館協議会とは（説明資料）
・野洲市図書館協議会　提言「くらしのなかに図書館を　～これからの野洲図書館のあり方について～」（2014 年９月）
・令和５年度　野洲図書館事業方針（令和４年度第４回資料）
・図書館の評価について
・野洲図書館　令和３年度　図書館の評価（令和４年度第４回資料）

資料④

野洲市図書館協議会委員

令和5年度

任期:令和5年(2023 年)5 月 1 日～令和7年(2025 年)4 月 30 日　　50音順

氏名	所属	備考
宇野（ウノ） 比呂久（ヒロヒサ）	中主中学校校長	1
遠藤（エンドウ） 正一（マサイチ）	学識経験のある者	4
岡田（オカダ） さゆり	野洲養護学校教諭	1
岡田（オカダ） 知巳（トモミ）	滋賀県立図書館課長	4
辻村（ツジムラ） 琴美（コトミ）	公募委員	5
中村（ナカムラ） 聡子（サトコ）	公募委員	5
早川（ハヤカワ） 久登（ヒサト）	社会教育関係者	2
披岸（ヒギシ） 徹夫（テツオ）	社会教育関係者	2
松山（マツヤマ） 裕子（ヒロコ）	学校応援団　図書館ボランティア他	3
山本（ヤマモト） 宗司（ソウジ）	祇王小学校校長	1

1. 学校教育関係者　2. 社会教育関係者　3. 家庭教育の向上に資する活動を行う者
4. 学識経験のある者　5.その他教育委員会が認める者

野洲図書館「図書館の評価」について

「図書館の評価」とは図書館の運営の実態について、点検、測定し、目標の達成具合などについて判断することです。図書館法では、公立図書館は運営の状況について評価を行い、その結果に基づき運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、運営状況に関する情報を積極的に提供するよう努めることと定めています。

1.「図書館」の定義と基本理念

図書館は、図書館法第二条に「図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と定義されています。同法第三条には、図書館奉仕として行うべき事項についての定めもあります。

また「ユネスコ公共図書館宣言（1994年）」には「公共図書館が、教育、文化、情報の活力であり男女のこころのなかに平和と精神的な幸福を育成するための必須の機関であるというユネスコの信念を表明するものである」「地域において知識を得る窓口である公共図書館は、個人および社会集団の生涯学習、独自の意思決定および文化的発展のための基本的条件を提供する」など、公共図書館の果たすべき理念と役割が謳われています。

2. 野洲図書館が目指す図書館像について

図書館が行う「知識や情報の集積」と「それを利用者へつなぐ活動」を通して、地域社会を構成するすべての人が必要としている情報や知識・文化へのアクセスを保証することが、図書館の基本的な機能です。このことを充分に果たすことによって、地域に生きるひとりひとりの人生の質が向上することは疑いがなく、またそういう人たちが暮らす地域社会は、文化的に豊かでかつ民主的な共同体として発展することが可能となります。

野洲図書館は、まずはそうした基本的な機能の質を向上させるべく、日々サービスの向上に努めます。そして、その機能を全ての市民が享受できるような環境を整備すること目指します。

また、地域に住む人々の個々の課題の発見や解決に活用されるとともに、図書館に集う人々の活動を活性化させ、地域課題の解決や地域の活性化へとつなげていけるよう、活気のある図書館づくりを進めていきたいと考えています。

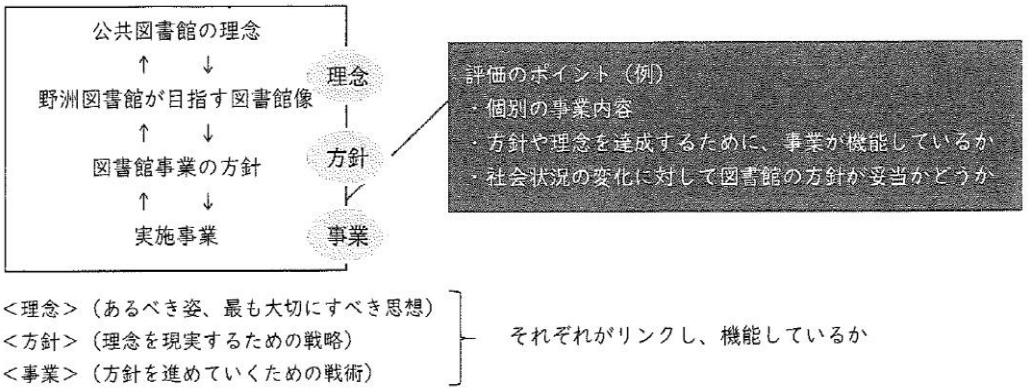
3. 野洲図書館の活動の指針について

野洲市は図書館基本計画が未策定の状態です（令和５年４月時点）。

野洲図書館の活動は、毎年の「業務方針」と、２０１４年の図書館協議会による提言「くらしのなかに図書館を―これからの野洲図書館のあり方について―」の直接的な方針として実施しています。

4.「図書館評価」の位置づけ

図書館の事業は、図書館の社会的理念の実現のために、一定の方針のもと実施されます。図書館の評価においては、個々の事業の実施内容を検討していただくとともに、図書館の基本理念に沿う形で野洲図書館の活動が実施されているかを点検していただきたいと考えています。評価でご指摘いただいた事柄については、館として受けとめ、業務改善につなげてまいります。



5. 評価項目の設定と評価方法

評価項目は、館が特に重点的に取り組みを進めたいと考えている数項目について取り上げ、それぞれの内容に沿って評価シートを設定します。そして各評価シートには、関連する事業項目や達成すべき数値目標を設定します。

各年度の事業実績に基づいて図書館が自己評価を実施した評価シートを、図書館協議会に提示させていただきますので、委員ごとにご意見をお寄せください。お寄せいただいたご意見は事務局にていったん集約し、それに基づいて最終的な図書館協議会としての評価を設定していただきます。

野洲図書館　事業評価シート【令和4年度（2022年度）】

事前意見記載版　　案　　資料⑤

（1）　市民の必要とする資料と情報の提供

市民一人一人の知りたいこと、学びたいことに対して、適切な資料を提供することは、憲法等に定められている学習権を保障する、非常に重要な社会的機能です。また読書という営みには、新たな知見を得るという事のみならず、人や社会への理解を深め、心を豊かにするなど計り知れない価値があります。

野洲図書館は、市民が読みたい本を提供する、市民が知りたい情報を得られるという図書館の基本的機能の質を向上させ、またその件数を増加させるよう努めます。

◆活動の方針

1　蔵書の魅力を向上させるため、選書の質・本の見せ方・求める資料へのアクセスのしやすさを工夫します

2　レファレンスサービスのPR及び回答の質の向上に努めます

3　普段図書館を利用しない人へ来館を促すPRを行います

4　積極的に特集展示を実施し、様々な分野の本へのアクセスを促します

令和4年度取組み実績

蔵書移管（本→中2238冊、中→本2837冊）、「広報やす」12月号で特集掲載、新規館行事の実施（一箱古本市、調べものマスターなど）、特集展示119件（うち行政機関等との連携特集44回）。ブックフェアへの参加。

成果指標と目標

指標名	R4目標	R4実績	達成率	R5目標
個人貸出し冊数（野洲市民）	550,000	451,355	82.1%	550,000
実利用者数（野洲市民）	10,000	8,663	86.6%	9,000
レファレンス件数	5,300	6,242	117.8%	5,500
レファレンス満足度	80%	98%	122.5%	95%

自己評価　　B

貸出し冊数は目標に届かなかったものの、新型コロナやインフルエンザ等が流行し来館者が減少したことを考えると、おおよそ妥当な数値だと考えます。開館20周年の年ということもあり、「一箱古本市」や「ファミリーレストランさんを起用した広報」など新規に事業を実施しました。棚の新陳代謝にも力を入れ、本館と中主分館での蔵書の入れ替えも意識的に行いました。特集展示も継続的に展開し、普段棚に埋もれてしまっている本を含め、多くの方に手に取ってもらうことができました。選書の質の向上のため、ブックフェアへの参加など本の情報収集に努めました。

今後の課題	令和5年度の活動方針
図書館の実利用者数は減少しているため、新規の利用登録の促進のための広報活動をはじめとする取り組みと、リピーターを増やすための来館者満足度を向上させるための取組みが必要だと考えます。	蔵書の魅力を向上させるため、選書の質・本の見せ方・求める資料へのアクセスのしやすさを工夫します レファレンスサービスのPR及び回答の質の向上に努めます 普段図書館を利用しない人へ来館を促すPRを行います 積極的に特集展示を実施し、様々な分野の本へのアクセスを促します

図書館協議会評価

図書館協議会委員の意見等

（評価する点）

・活動の方針に沿った取り組みと日常業務の確実な遂行を評価する。

・個人貸し出し冊数の回復が目覚ましいです。
・2番、3番の取り組みが功を奏していると感じます。
・特集展示も工夫されていて好印象です。

・いつもながら特集コーナーの充実ぶりはすごいと思います。これからも継続をお願いします。 ・PRという点でも、多くのイベントを行っていただき、良かったと思います。 ・リファレンスサービスの件数が着実に増えており、評価できると思います。 ・野洲駅のチラシ棚への「図書館だより」の設置は良いと思います。もっとPRしましょう。
・貸出冊数は前年度から減っているものの、新書の購入冊数やスタッフのサービス・イベント・団体への貸出他、魅力的な図書館運営がなされていると思います。
・利用者拡大につながる様々な取り組みを企画していること自体に、高い評価点をつけることができます。 ・企画内容（特集もの、レファレンスサービス、おはなし会等）も、細やかな配慮・気づかいが感じられ、高評価です。
（課題と考える点）
・図書館運営の常套手段に偏りすぎてポイントが見出せない。 ・活動方針が漫然としているため焦点を絞った実績に結びつかないように感じる。 ・図書館の基本的機能の質向上と件数増加を促進する特徴的な活動が求められる。 ・市民にインパクトを与え、能動的な行動を促すような作戦を講じることが望ましい。
・特設コーナーからの貸し出し冊数で行政機関の取り組みとのすれ違いを感じる。 ・各機関の特設展示になると貸し出し冊数が少ないのはなぜか？
・貸出人数前年比:-2.2%に対し、貸出冊数前年比：-5.3%、実質貸出密度も下がっており、市民が読みたい本の提供、知りたい情報の提供が本当になされているか。 ・書籍の単価上昇の中での資料費の減額、しいては購入冊数が減ってしまっており、読みたい本が無くなっていくのではという心配がある。
・強いてあげればですが、書棚上に置いてあるおススメ書籍等にポップコメントなどがあるとよりインパクトが増し、立ち止まり感が出てくると思います。（他図書館でも実施しているところがあります）
・利用が少ない年齢層、地域について、分析・対策が必要と考えます。

野洲図書館　事業評価シート【令和4年度（2022年度）】

案

(2)　こども、若者と本をつなぐ

乳幼児期から児童期にかけては、本と接することにより、ことば（語彙）を獲得し、考え、判断し、行動するための基礎的な力だけでなく、豊かな感受性・心を育むことができる、きわめて重要な時期です。ヤングアダルト（YA）になるとより高度な知見や文脈を読み取るようになり、本を通して自らの社会を広げ、社会へはばたくための力を養います。この時期に読書をしたという経験は、やがて歳を重ねたときに本を読むための素地となります。

◆活動の方針

1　読書の魅力・楽しさを最大限PRします

2　「良書より適書を」を基本に、一人一人が必要としている本を提供します

3　ひとりひとりの成長の度合いに合わせて「次の読書」へステップアップできるよう工夫します

4　園や学校と連携し、より豊かな読書環境を提供できるよう支援します

令和4年度取組み実績

館内（お話会62回630人）、小学校（ブックトーク92回、お話会45回など）、広報誌（児童年12回＋1回、YA年7回）、「一日図書館員」・「調べものマスター」実施、キャリア学習受入、「としょかんBOX」等の実施（園5,760冊、小25,360冊、中9,380冊）、団体貸出（園196冊、小2,749冊、中-高247冊、学童10,456冊）など

成果指標と目標

指標名	R4目標 *(R3実績)*	R4実績	達成率	R5目標
（市民）児童書貸出冊数	*157,601*	151,704	96.3%	160,000
年齢別実利用者数（7-12歳）	*1,259*	1,257	99.8%	1,300
年齢別実利用者数（13-18歳）	*503*	579	115.1%	580
年齢別貸出冊数（13-18歳）	*14,689*	14,684	100.0%	18,000

自己評価	B

コロナ禍の中でも利用を大きく減らすことはありませんでした。こどもからYAの読書環境の整備のために「としょかんBOX」による配本は、中学校への運用を開始しました。小学校へのブックトークやおはなし会も継続的に実施しました。図書館利用への関心を喚起する新規事業として「図書館で調べものマスターをめざそう！」を実施しました。YAの広報紙「やすど」は100号の記念号を発行しました。

今後の課題	令和５年度の活動方針
未就学児の登録が伸び悩んでいるため、ブックスタート時に0歳からカードを持てることをよりアピールする必要があります。小学生の登録は、移動図書館実施校で一定数ありますが、その後の直接の来館や継続的な利用につながりにくい状況にあります（親に連れてきてもらう必要があるため）。図書館へ行きたいと思えるように、一人一人が読みたいと思える本が見つかる、魅力的な棚づくりを進めていく必要があります。	読書の魅力・楽しさを最大限PRします 「良書より適書を」を基本に、一人一人が必要としている本を提供します ひとりひとりの成長の度合いに合わせて「次の読書」へステップアップできるよう工夫します 園や学校と連携し、より豊かな読書環境を提供できるよう支援します

図書館協議会評価

図書館協議会委員の意見等

（評価する点）

・新型コロナ禍など社会状況の変化に左右されない図書館運営を評価する。
・学校と連携した取り組みは継続性があり可能性を引き出す要因になるので評価できる。
・「調べものマスター」は目標の明確さが評価できる。
・「やすど」100号おめでとう。

・ブックスタートから始まり、各年代層に沿った取り組みを評価します。

・ブックトークやお話会などほぼ開館日の2日に1日の割合で開催していただいている。お疲れ様です。
・多くのイベントや図書館ボックス、団体貸出を行っていただいている。
・「やすど」の100号達成、おめでとうございます。
・年齢別貸出数で、16～18歳が前年比+10.4%になっている。素晴らしいです。

・中学校への「としょかんBOX」の運用拡大について、大いに評価します。
・R4年度事業報告、今後の取り組みの予定として、「学校図書館の充実に向けて」明文化（公的な資料に記載）されたことは、まず本に触れる機会の増大に向けた大きなターニングポイントになりうると思います。

・「子ども・若者」向けの様々な取り組みを企画していること自体に、高い評価点をつけることができます。
・企画内容に関しては、直接接することが少なく、詳しくの評価はできませんが、図書館を利用している子どもさんたちを拝見するに、本を楽しんでいる姿が多々見られ、日頃の取り組みの成果が出ていると感じます。

（課題と考える点）

・今後の課題に示されている移動図書館から来館に繋げる方策は重要な指摘である。
・カウントの視点を広げて移動しても図書館なので人数、回数を組み込み母数を確保したい。
・経年来館者の発現を期待したい。

・「良書より適書」とありますが一人一人が必要としている本についての情報の収集はどのようにされているのか？ブックスタートもマンネリ化していないか？乳幼児への読み聞かせの絵本を勧めるだけでなく経験の少ないお母さん方が日頃どんなことに悩まれているのか、アンケートを取ってみて参考になる本を提供してはどうか？

・ブックスタート事業：受診対象者374人に対して292人に配布。82人に届いていない。まず、コロナ前の形（4か月検診の際に渡す）に戻し、未受診のこどもにも届く方法を検討してほしい。
・年齢別貸出数で、0～6歳が、昨年比-12.2%と大きくマイナスになっている。40代が同様に-12.7%と減っているのに連動しているのか（お母さんが来なくなっている？）。

・上記に同じく、絵本等の紹介のときに、もっとポップコメントなどがあるとよりインパクト、立ち止まり感が出てくると思います。（他図書館でも実施しているところがあります
・「子ども・若者」向けの映像・音楽も利用者拡大につながる一つの媒体として、増やしてはいかがでしょうか。その時に、VHS（巷では再生機器がほぼ消滅状態）コーナーの有効活用も視野に入れて下さい。

・来館を促したり、継続的な利用のために、キャッチしやすい方法（SNS等）での新着図書やイベントなどの情報の発信を検討をスタートする必要があると思います。
・交通の便が十分でないことや、開館時間等の変更や拡大が難しい一方で、こどもが来館したい動機があったり、借りたい本があることを知ってもらうことができればと思います。

野洲図書館　事業評価シート【令和4年度（2022年度）】

案

3　誰もが利用できる図書館サービス

公共図書館は、市民の誰もが利用できる施設であるべきですが、様々な理由により図書館を使いづらい人々もいます。野洲図書館では主に障がいのある方を中心にしたバリアフリーサービスや、日本語を母語としない方への多文化サービスなどをすすめてきました。しかしその他の要因、例えば、図書館まで遠い、車の免許がない、休日でも図書館利用が難しいなど、来館しての図書館利用が難しいと感じている方も多いということがわかっています。そこで、誰もが利用できる図書館サービスのあり方について、検討を進めていきたいと考えています。

◆活動の方針

1　郵送貸出や宅配の周知と利用の拡大をすすめます
2　大活字本やLLブック、多言語の資料の収集をすすめます
3　非来館型のサービスについて検討をすすめます

令和4年度取組み実績

郵送貸出・宅配サービスの実施、大活字本受入（一般96冊、児童21冊）、外国語資料受入（図書265冊、絵本48冊）、市内ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ図書館連携意向調査、野洲駅予約本受取ボックス整備、野洲駅ブックポスト設置、アル・プラザ野洲との連携検討、吉川自治会（吉川憩いの会）への出張貸出、

成果指標と目標

指標名	R4目標	R4実績	達成率	R5目標
郵送貸出、宅配の実利用者数	18	18	100.0%	20
野洲駅予約本受取ボックス貸出者数	-	-	-	2,500
（学校対象以外）出張貸出貸出数	-	-	-	300
自己評価				B

郵送貸出や宅配については、サービス利用者へは継続的・安定的に資料を提供することができました。外国語資料や大活字本なども増やしました。特に大活字本についてはニーズも多く、よく活用されています。市の「出前講座」や自治会へ出向いての出張貸出しも実施しました。国の交付金を活用し、野洲駅に「予約本受取ボックス」とブックポストを設置し、24時間、本を借りたり返したりすることができるようになりました。これまで図書館へ来館するのが難しかった市民の利用が見込まれます。

今後の課題	令和５年度の活動方針
郵送・宅配サービスの周知と新規利用者の開拓が必要です。外国語資料などは、継続的に収集できるよう資料費の継続的な確保が必要です。コミセンを拠点として本の貸出返却等のサービスができないか調査を実施しましたが、効果的な事業展開は難しいと判断しました。別の切り口で、図書館ができることを考えていく必要があります。	郵送貸出や宅配の周知と利用の拡大をすすめます 大活字本やLLブック、多言語の資料の収集をすすめます 非来館型のサービスについて検討をすすめます

図書館協議会評価

図書館協議会委員の意見等

（評価する点）

・野洲駅前の「ブックポスト」は新聞にも取り上げられ他地域からも好意的な反応があり評価できる。
・郵送貸出や宅配は時代のニーズにあった図書館サービスとして評価できる。
・大活字本、LLブック、多言語資料は市民の多様性を図書で認め知的欲求を補完する役割を担うものとして評価できる。

・郵送貸し出し、宅配貸し出し100%達成を評価します。
・野洲駅での予約受け取りサービスを評価します。

・国の交付金を活用した「予約本受け取りボックス」の設置 → 設置個所を増やしていきたいですね。
・吉川自治会への出張貸出 → 広げていけるといいですね。ちなみに、図書館見学に行ったときに館長におききしたのですが、長浜図書館は移動図書館を購入計画しているとのことでした。

・吉川自治会の対応など、各利用者（団体）のニーズに合わせ、柔軟に対応している点が素晴らしいと思います。

・「誰もが利用できる図書館サービス」向けの様々な取り組みを企画していること自体に、高い評価点をつけることができます。

（課題と考える点）

・商業施設との連携は図書館イメージのハードルを下げ未利用者の発掘にもつながるので取り組みを加速してほしい。
・国籍の多様化、性の多様性LGBPQ、心理的柔軟性を高める暮らし方など書籍の充実と、交流の創出が望まれる。
・「本好き」ネットワークの仕組みがあれば利用者との繋がりが深まるのではないか。

・郵送希望者、宅配希望者18名から目標が20名とありますが、潜在的な希望者はもっといるのでは？各施設や自治会等にPRできているのか疑問です。増えてしまっても図書館の負担が増すのが不安ではありますが、こちらからの働きかけも必要では？

・ 年齢別貸出数で、60代以上が+0.2%でしかない。高齢者向けの読書講習会などを開いてみてはどうでしょうか。
・ 雑誌タイトル数の減少。2008年、2009年の半分以下に減っている。集客の観点からよくないと思います。雑誌自体が減っており、また、雑誌か図書かどっちを購入するのかという問題もありますが。

・社会的マイノリティーの方々へのサービスは、「受け身」の姿勢では、その拡大につながりません。積極的に出向き、「どんな場面で困っているのか」「どんなサービスが必要なのか」の具体的な声をすくい上げて下さい。（野洲には各種の障害団体が一同に集まる会合があります。そんな場を利用してはいかがでしょうか。）

・利用方法について知っている方のみが利用するのではなく、知らない方にも利用が拡大されるよう、引き続き情報を発信するとともに、未利用者の属性にマッチする発信方法や機会についても再考する必要があると思います。

その他の意見
・野洲図書館「図書館の評価」について書面で２箇所の気づきを示す。 ①２、野洲図書館が目指す図書館像について・・・２段落目、環境を整備すること目指します→ことを目指します。 ②４、「図書館評価」の位置づけ・・・〈方針〉（理念を現実するための戦略）→実現するための戦略 ・文献資料の整理方法、一覧表作成フォーマットがあればご教授願う。理由詳細は別途説明する。
・少し古い書籍がすぐに書庫に移されてしまい、カウンターに依頼するのが面倒だと、市民の方から聞いています。図書館に出向いて借りたい時に書庫に保管とあると混んでいる時は遠慮してしまい、読みたいという時を逃してしまうとの事。その時の時事の風潮や、話題に見合うものはまた書庫から配架してはどうか？新しい作品は予約がいっぱいで、関連本や、過去の作品で妥協した時に遭遇する現象だという事です。
事業評価シートのR4の実績数が間違えていませんか。 ・ 評価記号の意味をどこかに記載してください。一番いいのがA？ 下は、Zまであり？ ・ 生成AIがあれば、図書館司書はいらなくなるという暴言をちょくちょく目にします。理論武装をよろしくおねがいします。
評価シート自体、分かりやすく、いい形でまとめられていると思います。このこと自体が公共図書館では画期的なことだと思います。
・各種指標の「V費用対効果」ですが、ほかの文言はありませんか。分子には図書館利用で得られる書籍代以外のものについては計算ができないものがあてはまると思うので。業界ではこのように算出するのでしたらすみません。

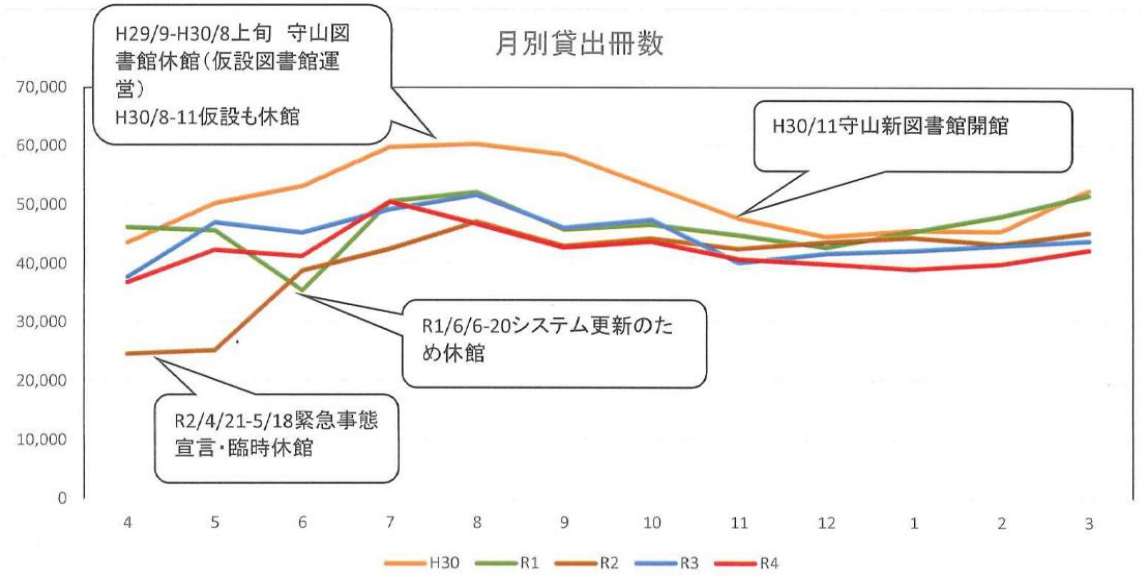
野洲図書館　利用状況の推移

資料⑥

月別貸出冊数

	本館	中主	R4	前年比	H30	R1	R2	R3	R4
4	34,179	2,696	36,875	−2.5%	43,693	46,273	24,644	37,810	36,875
5	39,391	3,062	42,453	−9.7%	50,316	45,702	25,195	47,032	42,453
6	38,341	3,016	41,357	−8.7%	53,162	35,436	38,864	45,301	41,357
7	46,640	3,910	50,550	2.7%	59,772	50,525	42,550	49,203	50,550
8	42,991	3,836	46,827	−9.3%	60,315	52,134	47,184	51,614	46,827
9	39,748	3,055	42,803	−7.2%	58,526	45,792	43,065	46,102	42,803
10	40,165	3,651	43,816	−7.6%	53,093	46,634	44,364	47,438	43,816
11	37,530	3,282	40,812	1.8%	47,734	44,865	42,563	40,092	40,812
12	36,896	3,066	39,962	−4.1%	44,635	42,785	43,662	41,686	39,962
1	36,220	2,828	39,048	−7.5%	45,681	45,448	44,462	42,196	39,048
2	36,867	3,069	39,936	−7.2%	45,554	48,005	43,359	43,032	39,936
3	38,803	3,554	42,357	−3.4%	52,425	51,491	45,306	43,831	42,357
合計	467,771	39,025	506,796	−8.7%	614,906	555,090	485,218	535,337	506,796

前年比△5.3%



資料(1)

生年別　市民一人当たり貸出冊数

年齢	人口	生年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13
R4時点		(年度)	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001
0	373	2022	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	383	2021	3.11	0.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	405	2020	7.00	3.25	1.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	464	2019	8.74	5.34	2.69	0.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	430	2018	16.00	16.46	6.96	1.82	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	434	2017	14.73	13.49	7.58	2.88	1.47	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	519	2016	9.28	9.28	6.46	3.15	1.20	1.11	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	476	2015	24.43	17.39	14.94	12.85	6.90	2.07	0.72	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	480	2014	18.91	18.89	12.66	13.56	9.50	8.03	4.25	2.35	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	497	2013	12.30	16.66	12.97	10.34	8.67	4.90	2.82	0.98	0.43	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	483	2012	20.06	20.74	19.90	21.36	13.58	9.85	6.51	5.65	3.27	1.14	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	522	2011	15.27	17.65	14.52	22.25	22.44	14.48	11.16	7.87	3.35	0.98	0.30	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12	534	2010	10.77	12.32	11.35	15.86	19.26	16.73	9.15	6.52	3.79	1.08	1.12	0.74	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
13	519	2009	8.89	14.69	14.17	17.62	23.36	26.80	24.63	14.21	12.37	8.22	4.82	2.20	0.83	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
14	493	2008	6.39	8.78	14.93	19.13	22.97	24.58	21.94	21.80	10.44	6.31	4.32	2.71	0.73	0.19	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
15	519	2007	7.34	8.02	9.24	13.95	16.82	18.13	21.51	19.08	18.03	8.80	5.92	5.15	2.65	0.61	0.35	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
16	487	2006	4.67	7.61	8.95	9.32	15.29	20.35	22.34	25.47	24.75	22.17	13.53	9.55	4.61	2.60	1.71	0.76	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
17	556	2005	2.26	3.11	5.19	7.04	8.61	14.68	17.61	20.79	19.62	21.57	23.12	17.44	10.50	6.91	3.99	0.57	0.06	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
18	449	2004	1.92	2.05	1.87	3.78	4.87	7.48	14.90	17.36	20.43	25.04	19.89	20.46	13.34	9.10	5.85	3.12	0.73	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
19	522	2003	1.22	1.23	1.39	2.36	4.76	6.57	7.98	16.70	17.25	19.43	19.04	19.14	16.80	11.21	8.72	5.54	1.52	0.71	0.06	0.00	0.00	0.00
20	499	2002	3.35	3.91	2.92	3.87	4.69	7.35	10.79	14.56	20.10	28.54	30.04	33.91	26.56	23.71	18.84	15.75	9.98	6.23	1.43	0.12	0.02	0.00
21	529	2001	3.43	2.99	3.10	2.02	2.37	2.46	5.72	6.80	9.11	15.82	17.92	22.52	21.84	19.52	20.20	14.61	10.84	10.53	5.29	0.99	0.10	0.00
22	485	2000	2.85	2.90	2.29	1.87	2.23	2.11	2.45	5.64	5.36	7.37	16.27	17.77	19.42	28.70	24.79	18.40	13.34	10.26	7.45	2.42	0.81	0.03
23	469	1999	2.81	2.05	2.58	1.72	2.42	2.05	2.43	3.74	5.60	6.27	9.76	17.00	21.77	21.07	25.85	26.36	24.71	21.96	15.73	9.78	4.10	0.71
24	553	1998	1.73	2.27	2.65	1.71	2.23	3.57	4.59	3.11	3.63	6.46	7.85	9.87	17.33	19.81	23.90	20.99	21.57	17.51	16.92	10.44	5.06	1.45
25	531	1997	2.66	3.79	2.04	3.40	2.48	3.28	4.14	4.89	3.66	4.40	7.31	8.72	12.83	23.20	21.43	22.08	22.90	22.67	22.58	16.21	7.80	1.57
26	533	1996	2.90	2.97	2.83	3.05	3.60	2.57	3.62	3.71	2.88	3.89	4.34	7.60	10.53	13.08	15.46	18.00	18.27	17.29	19.04	14.43	6.71	1.76
27	480	1995	6.02	4.46	3.28	3.87	3.61	5.34	4.67	4.20	7.41	7.54	5.38	5.48	7.90	9.81	10.43	17.98	18.95	17.05	20.87	18.69	12.41	1.96
28	507	1994	3.45	3.05	3.07	4.07	3.43	2.84	3.46	3.46	4.98	6.48	8.14	9.35	13.81	13.14	10.38	8.23	15.35	15.60	17.96	16.53	11.45	2.84
29	516	1993	3.18	3.68	3.66	2.75	2.67	1.63	2.36	3.87	3.42	4.18	4.73	6.31	6.23	6.41	9.08	7.70	12.30	19.45	19.02	18.42	14.72	3.18
30	485	1992	7.21	4.15	2.78	3.29	3.96	4.64	2.86	3.58	4.14	4.46	4.35	5.24	4.90	3.20	3.60	5.35	7.85	10.39	14.14	15.29	11.41	3.18
31	505	1991	4.00	3.35	3.55	4.01	3.86	2.49	2.10	2.09	2.40	5.56	5.67	4.99	4.62	4.24	4.40	4.42	7.25	8.21	10.21	13.20	8.97	2.25
32	523	1990	6.09	8.66	9.17	7.26	5.50	5.02	4.86	3.90	4.06	3.70	5.80	4.27	7.28	7.25	6.32	5.53	5.55	7.89	8.61	9.13	8.87	1.63
33	524	1989	7.48	8.59	6.60	7.12	6.62	4.88	5.13	3.90	3.83	3.32	3.84	6.13	7.57	6.33	7.96	7.09	6.79	8.03	9.25	9.96	5.96	1.91
34	565	1988	6.94	7.53	5.58	6.18	7.04	6.09	6.13	4.99	3.85	4.49	4.99	6.08	6.22	5.83	4.78	4.85	4.99	6.31	6.61	7.78	5.05	0.79
35	586	1987	10.23	9.33	7.37	9.25	8.93	9.38	6.91	5.36	3.32	3.07	4.21	5.29	4.77	7.11	6.37	6.59	7.00	6.04	6.71	6.69	4.68	1.10
36	591	1986	9.17	7.91	8.64	7.78	7.93	7.13	6.84	5.71	5.84	6.88	6.45	7.18	5.26	5.11	5.96	6.34	6.48	7.33	4.28	3.43	2.27	0.78
37	632	1985	13.10	9.39	8.92	9.76	10.15	10.71	10.99	8.89	7.24	8.50	6.10	6.85	7.37	7.46	5.71	8.48	7.66	8.82	8.83	7.43	3.96	0.98
38	628	1984	12.63	11.85	9.56	11.64	12.10	12.64	10.26	10.91	8.40	7.56	6.75	6.67	6.37	6.05	6.16	5.64	7.21	7.16	7.91	8.03	2.48	0.21
39	618	1983	14.01	13.63	11.22	13.47	12.97	13.22	11.76	11.11	8.14	8.98	6.98	6.96	6.38	6.73	7.00	6.27	6.41	6.40	6.08	6.21	3.11	0.47
40	668	1982	12.42	14.58	12.67	13.17	15.08	13.00	12.28	12.28	9.94	10.09	10.02	8.92	7.80	8.57	7.34	8.25	7.74	8.64	9.30	9.08	5.30	1.83
41	668	1981	12.66	15.07	10.35	18.09	16.04	15.29	11.77	12.69	9.73	11.00	9.77	9.33	9.35	9.99	8.52	8.30	7.11	7.21	5.81	7.17	3.27	0.78
42	650	1980	13.98	14.43	10.87	13.13	15.58	15.66	13.20	13.66	13.79	13.61	14.56	11.77	10.22	10.46	9.38	8.78	9.53	8.69	6.27	6.64	4.65	1.01
43	753	1979	9.66	11.86	12.15	14.82	14.03	15.10	14.64	13.92	15.56	14.74	13.34	14.62	14.06	14.63	13.51	11.39	9.21	7.46	7.65	6.43	3.62	0.85
44	722	1978	13.95	14.22	11.54	14.34	14.23	15.91	16.89	15.83	13.97	14.41	19.79	18.86	17.50	16.74	16.00	12.89	11.17	10.14	10.01	9.75	4.72	1.54
45	776	1977	11.27	13.57	11.77	11.59	13.80	15.71	16.92	16.41	17.57	17.66	15.96	18.55	17.27	18.81	17.33	15.87	14.78	11.28	10.58	9.15	4.57	1.28
46	814	1976	11.56	13.06	11.69	13.46	15.36	18.46	19.91	16.91	17.49	20.08	21.49	21.16	22.39	21.08	17.29	15.65	14.80	13.57	12.43	9.93	4.95	0.85
47	868	1975	9.65	10.62	10.75	14.13	14.96	15.96	16.66	17.54	16.60	17.35	19.83	19.89	20.66	17.96	18.10	17.78	15.77	12.44	11.34	10.94	5.40	0.89
48	822	1974	10.09	12.16	12.57	14.01	15.58	17.46	19.54	22.17	24.97	25.54	26.18	27.89	26.81	27.86	27.82	24.61	20.20	15.95	15.46	14.40	6.77	1.63
49	850	1973	10.92	12.49	11.59	14.55	16.65	19.93	19.91	21.94	22.59	22.80	22.09	23.16	22.71	24.02	23.35	20.86	20.00	17.36	13.96	12.33	6.52	1.70
50	806	1972	11.76	12.55	12.02	13.52	15.22	16.40	16.85	19.48	19.20	22.43	25.40	29.39	28.04	27.64	27.07	24.90	23.78	20.85	18.54	15.41	7.43	1.86
51	759	1971	9.33	10.47	8.87	10.30	11.09	11.83	13.77	16.14	17.50	18.58	20.91	23.44	21.29	22.00	23.01	19.18	17.63	17.41	16.34	15.76	9.07	2.13
52	712	1970	7.14	8.23	8.20	9.08	10.55	11.18	12.26	14.04	14.69	16.77	20.34	19.74	22.18	22.18	26.43	25.17	23.71	21.74	20.02	18.07	8.64	1.89
53	700	1969	8.49	8.42	8.36	9.81	12.05	11.84	12.41	12.51	15.71	18.02	19.68	21.70	24.08	21.09	20.67	18.91	19.90	21.37	20.37	20.99	10.96	3.78
54	688	1968	10.33	11.34	10.10	12.39	12.81	14.27	16.05	17.02	15.44	17.85	18.28	18.11	21.58	22.81	22.06	21.35	24.01	19.44	21.71	18.54	9.92	3.56
55	585	1967	16.29	18.00	16.17	16.22	16.14	16.37	16.15	18.53	22.14	24.03	25.06	27.59	25.74	29.16	27.13	24.52	27.34	26.65	23.12	23.76	13.72	4.09
56	548	1966	11.90	11.26	9.80	10.73	11.43	12.07	12.92	16.29	14.99	17.44	17.57	19.73	19.40	22.46	23.71	19.16	19.69	21.42	20.43	20.84	10.11	2.42
57	603	1965	4.68	5.30	4.69	5.65	6.30	6.45	8.08	9.61	9.81	10.02	9.76	11.54	12.95	13.56	12.57	12.88	14.71	14.64	15.48	16.31	10.69	3.58
58	607	1964	6.65	7.01	5.93	5.63	7.95	9.45	10.17	10.72	11.02	13.06	12.84	15.21	15.35	15.92	16.42	17.00	17.96	19.82	19.53	19.69	11.89	3.56
59	567	1963	8.35	9.61	8.67	10.43	10.86	11.14	12.49	13.83	14.43	14.25	15.08	15.56	16.57	19.09	22.10	21.70	19.88	21.29	21.38	20.97	13.52	4.62
60	542	1962	9.54	9.96	8.37	11.22	11.91	11.69	13.35	12.70	13.60	13.93	15.27	15.19	14.47	14.94	16.74	17.62	16.90	18.28	17.43	18.42	11.20	5.11
61	474	1961	13.58	13.95	11.01	12.17	13.02	12.77	12.52	12.12	14.36	14.23	15.31	15.97	15.57	18.06	19.38	20.40	20.93	21.26	20.16	22.08	11.67	3.29
62	494	1960	8.47	6.82	6.00	6.90	9.51	9.21	10.17	9.75	12.01	11.97	11.36	11.41	12.23	12.69	11.57	12.39	13.27	15.69	13.00	16.69	10.96	4.15
63	585	1959	9.11	9.60	9.12		9.56	8.59	9.58	10.19	10.05	10.24	10.61	12.33	11.77	14.19	13.97	14.48	14.19	13.90	13.95	12.24	7.71	2.08
64	500	1958	10.42	12.21	11.05			11.22	10.57	11.19	9.28	11.34	12.13	10.86	10.55	12.28	11.92	12.03	14.13	14.50	13.90	14.18	7.87	4.03
65	510	1957	10.63	10.64	9.34				9.05	11.02	11.21	11.89	11.16	10.86	12.14	13.81	13.02	11.97	11.44	14.01	13.02	13.92	7.35	2.29
66	605	1956	9.03	8.80	7.64					8.18	9.92	8.61	8.64	7.65	8.18	8.55	8.18	9.90	10.26	9.30	9.64	10.79	6.41	2.21
67	581	1955	9.14	9.50	9.22						8.38	9.98	10.71	9.81	9.94	9.55	9.07	9.35	9.73	9.04	8.04	7.76	4.39	1.57
68	586	1954	11.09	9.86	9.60							10.03	10.47	9.47	9.95	10.48	10.98	10.59	10.00	10.06	10.46	10.49	6.49	2.20
69	594	1953	11.57	12.13	12.05								13.60	12.72	11.59	13.03	12.34	12.06	12.46	11.10	11.55	11.83	7.59	2.64
70	631	1952	7.91	7.30	7.08									8.68	8.30	7.88	6.98	7.69	8.23	7.84	7.62	7.61	4.73	1.72
71	697	1951	12.28	11.89	10.85										11.69	12.01	11.46	11.99	11.69	11.62	10.83	11.52	7.17	2.46
72	785	1950	9.91	9.52	8.33											8.60	7.91	8.85	8.65	8.62	8.92	7.84	4.25	1.47
73	825	1949	12.24	13.63	12.10												9.74	9.34	9.40	10.10	9.45	8.63	5.96	3.06
74	830	1948	10.69	10.40	9.10													11.19	11.01	11.00	9.84	11.36	6.37	1.96
75	666	1947	11.40	12.33	12.15														13.41	11.51	10.67	11.05	6.91	2.29
76	464	1946	12.53	13.34	13.45															15.28	15.35	13.28	8.69	3.17
77	534	1945	9.68	8.31	8.12																8.51	8.11	4.70	2.16
78	614	1944	6.70	7.57	6.91																	7.89	4.84	1.94
79	549	1943	6.95	7.66	7.50																		6.02	1.97
80	523	1942	8.04	7.96	7.50																			2.63
81	458	1941	10.17	9.42	9.79																			
82	373	1940	4.53	5.64	6.19																			2.23
83	291	1939	3.93	6.28	6.69																			
84	367	1938	2.55	2.63	2.61																			
85	319	1937	4.58	5.97	5.96																			
86	291	1936	1.90	3.01	3.26																			
87	231	1935	2.61	2.48	2.54																			
88	189	1934	1.17	1.65	4.39																			
89	183	1933	0.59	0.41	0.40																			
90	170	1932	0.35	1.07	0.31																			
91	146	1931	0.27	1.45	1.52																			
92	114	1930	0.03																					
93	100	1929	3.93																					
94	83	1928	2.98																					
95以上	221	1927以前	1.00																					

6冊未満
6冊～10冊未満
10冊～15冊未満
15冊～20冊未満
20冊以上

貸出密度上位の図書館と野洲図書館の比較

資料⑧

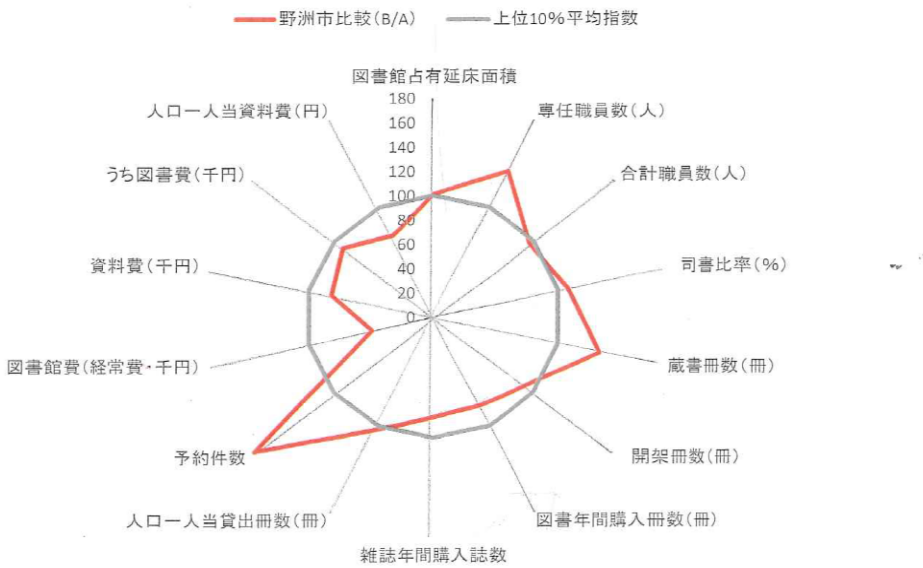
	野洲市比較(B/A)	上位10%平均指数	(A)5万人～6万人	(B)野洲市
図書館占有延床面積	101	100	3,762	3,787
専任職員数(人)	133	100	6	8
合計職員数(人)	96	100	24.7	23.8
司書比率(%)	108	100	70.1	75.6
蔵書冊数(冊)	134	100	307,971	411,800
開架冊数(冊)	92	100	198,244	181,589
図書年間購入冊数(冊)	82	100	10,285	8,388
雑誌年間購入誌数	83	100	181	150
人口一人当貸出冊数(冊)	103	100	10	10.0
予約件数	179	100	33,388	59,616
図書館費(経常費・千円)	50	100	118,744	58,872
資料費(千円)	82	100	20,971	17,204
うち図書費(千円)	91	100	16,150	14,712
人口一人当資料費(円)	75	100	390	291

日本図書館協会「日本の図書館2020」より

＊(A)人口5万人から6万人未満の自治体79のうち、貸出密度(一人当たり貸出冊数)の上位10%の8自治体の平均。令和元年度(2019年度)の実績数値。令和4年度の全国数値は2年後に公開されることと、令和2年～3年はコロナ禍の影響があるため令和元年度を選択した。

＊(B)野洲図書館の令和4年度の実績数値。

＊職員数について。日本図書館協会の全国統計の基準により、専任職員(正規職員)以外は1500時間を1名としている。そのため、野洲図書館の事業実績報告の職員数とは異なる。



資料 ⑩

令和５年度 野洲図書館 年間事業等の予定

（1）集会事業

◆講習会「雑誌『現代農業』に学ぶ野菜づくりのコツと裏ワザ」
6 月 24 日（土）14:00～15:00

◆「一日図書館員」 7 月 25 日（水）、7 月 28 日（金）
小学 4 年生～高校生対象 各日 12 名

◆「本を使って自由研究」8 月 2 日（水）
小学生の部：午前 定員 6 名
中学生・高校生の部：午後 定員 6 名

◆展示「身近にあった戦争 ～中主小学校から手りゅう弾が見つかった!～」
8 月 4 日（金）～8 月 31 日（木）

◆（仮）「図書館で夜更かし」9 月 17 日（日）（予定）

◆（仮）「一箱古本市」秋（内容、日程検討中）

◆講演会など

・9 月 23 日（土）14 時～
宮島未奈さんをかこんで 「みんなで成瀬を語る会」
（『成瀬は天下を取りにいく』著者）

・中村哲×蓮岡修
（仮）10 月 28 日（土）14 時～ 蓮岡修さん講演会
（絵本屋きんだあらんど店主）

（仮）10 月 14 日（土）14 時～15 時 30 分
プレ企画 上映会 『荒野に希望の灯をともす 医師・中村哲 現地活動 35 年の軌跡』

（2）学校・園への定期協力事業

◆幼稚園・保育園等への読み聞かせ用絵本セットの巡回 17 か所 年 6 回

◆「としょかん BOX」巡回 小学校 年 7 回、中学校 年 5 回

（3）「学校図書館支援員」事業（令和 5 年度新規事業）

（4）その他

◆「アルプラ移動図書館」 毎月第3金曜日 10:30～12:00
（アルプラ野洲店内での出張貸出） 6/16、7/20, 8/17～
滋賀県の「こどもとしょかん」事業（おはなし会、絵本の広場）も併せて開催する場合も有

◆「リサイクル市」6 月 23 日（金）～7/2（日）

◆「やすまる広場」協力 6 月 4 日（日）